食品･飼料･環境 検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

ELISA Systems アレルゲン シリーズ

アレルギー原材料の ELISA 法 検出キット

オーストラリアのアレルゲン検査キット専業メーカー ELISA Systems 社によるアレルギー原材料用 ELISA 法キットのシリーズですべて同一の簡単な前処理の後、約1時間のキット操作で検出します。
大豆、ゴマ、甲殻類などのキットも開発されています。

	ELISA Systems アレルゲン シリーズ		**製造：ELISA Systems PtyLtd 社**
品名 コード№ 価格･仕様	**βラクトグロブリン (1313ES) 48 ウェル 99,000 円**	**カゼイン (1312ES) 48 ウェル 99,000 円**	**エッグ (1317ES) 48 ウェル 99,000 円**
	ピーナツ (1315ES) 48 ウェル 99,000 円	**アーモンド (1333ES) 48 ウェル 99,000 円**	**ヘーゼルナッツ (1332ES) 48 ウェル 99,000 円**
	大豆 (1318ES) 48 ウェル 99,000 円	**ゴマ (1329ES) 48 ウェル 99,000 円**	**ソバ (1345ES) 48 ウェル 99,000 円**
	甲殻類 トロポミオシン(1346ES) 48 ウェル 99,000 円		
キット内容	**マイクロプレート (48 ウェル 1 枚=8 ウェル 6 本)、標準液 3～5 濃度 各1本、陰性コントロール 酵素複合抗体液、基質液、反応停止液、洗浄バッファー濃縮液、抽出バッファー濃縮液 ゴマ：酵素複合抗体液はビオチン-ストレプトアビジン方式で2液となります。試料希釈液もあり。**		
目的･用途	**各種アレルギー原材料 (タンパク) のスクリーニング検出あるいは準定量 適用試料には制限あり。別途ご相談ください。**		
原理と 検出限界	**マイクロプレート式 ELISA 法 (競合法ないしはサンドイッチ法)**		
	βラクトグロブリン	**ミルクパウダーとして標準液濃度 2.5、5.0、10.0、25.0ppm 抗原＝βラクトグロブリン**	
	カゼイン	**ミルクパウダーとして標準液濃度 1.0、2.5、5.0、10.0ppm 抗原＝ウシα-S カゼイン**	
	エッグ	**卵白タンパクとして標準液濃度 1.0、2.5、5.0ppm 抗原＝オボムコイドおよびオボアルブミン**	
	ピーナツ	**ピーナツタンパクとして標準液濃度 1.0、2.5、5.0、10.0、15.0ppm 抗原＝Ara h2 および Ara h1**	
	アーモンド	**アーモンドタンパクとして標準液濃度 1.0、2.5、5.0ppm 抗原＝特定の熱安定的なアーモンドタンパク**	
	ヘーゼルナッツ	**ヘーゼルナッツタンパクとして標準液濃度 0.5、1.0、2.5、5.0ppm 抗原＝特定の熱安定的なヘーゼルナッツタンパク**	
	大豆	**大豆タンパクとして標準液濃度 2.5、5.0、10.0、25.0ppm 抗原＝トリプシンインヒビターおよび大豆タンパク**	
	ゴマ	**ゴマタンパクとして標準液濃度 1.0、2.5、5.0ppm 抗原＝ゴマ 2S-アルブミン**	
	ソバ	**ソバタンパクとして標準液濃度 2.5、5.0、10.0、25.0ppm 抗原＝特定のソバタンパク**	
	甲殻類トロポミオシン	**トロポミオシンとして標準液濃度 0.05、0.10、0.25、0.50ppm 抗原＝トロポミオシン**	

本品は食品衛生･環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。　必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用･保管･廃棄等の方法には充分ご注意下さい。　なお、価格･仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社　http://www.azmax.co.jp/　E-mail:sales@azmax.co.jp
ご注文 お問合せは 東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312

食品･飼料･環境 検査キット ＜きっとセーフ＞ シリーズ

所要時間 **保存条件**	キット操作 約 1 時間 大豆･ゴマは約 1.5 時間 (前処理操作は別途検体数による) 2～8℃
前処理	**ダークチョコレートやタンニンが多く含まれる試料の場合には、抽出用バッファーに別売の添加剤を加えたり、専用の添加剤入りバッファーを用います。※詳細はご相談ください。** 抽出用添加剤濃縮液 (新製品：下の 2 品目とは別の性能を有します) (10 検体相当) (1318ESADS) ※ 抽出用添加剤 1 (30 検体相当) (1318ESTA1) (βラクトグロブリン/カゼインキット以外) ※ 抽出用添加剤 2 (30 検体相当) (1318ESTA2) (βラクトグロブリン/カゼインキット用) ※ **食品試料**： 試料 5g にバッファー50mL を加えホモジナイズ、60℃でインキュベート 15 分間。 ろ過あるいは遠心分離した清澄液をアッセイに用いる。(pH 6.8-7.4) (バッファーは事前に加温 60℃、液体試料の場合は 45mL) (インキュベート中 5 分毎に撹拌) (ゴマにおいてはさらに希釈を要す) **拭取り試料**： 拭取ったスワブを抽出バッファー1mL の入った試験管にとり 60℃でインキュベート 15 分間 (インキュベート中 5 分毎に撹拌) (ゴマにおいてはさらに希釈を要す)
キット操作	キットにより異なります。また、予告なく仕様変更される場合があります。必ずキット取扱説明書でご確認下さい。以下は参考例です。 **エッグ、ピーナツ、アーモンド、ヘーゼルナッツ**： ①各ウェルに試料 (あるいは標準) 100μL ずつ滴下し振とうする。 ② 室温で 10 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、洗浄バッファーで 5 回洗浄。 ③各ウェルに酵素複合体を 100μL ずつ滴下して振とうする。 ④ 室温で 10 分間インキュベート。ウェル内の液を廃棄後、洗浄バッファーで 5 回洗浄。 ⑤各ウェルに基質液を 100μL ずつ滴下して振とうする。 ⑥ 室温で 10 分間インキュベート。 ⑦各ウェルに反応停止液を 100μL ずつ滴下して振とうする。 ⑧目視で標準と比較するか、450nm 波長で吸光度を測定し、標準と比較する。 **βラクトグロブリン、カゼイン、ソバ**：②15 分 ④15 分 ⑥10 分 **大豆**：②30 分、④30 分、⑥15 分 **トロポミオシン**：②30 分、④15 分、⑥10 分 **ゴマ**：③④が 2 液 2 段階になり、またインキュベートはすべて 15 分になります。
その他必要機器 試薬	マイクロプレート (ストリップ) 用フォトメーター (450nm)、マイクロピペット、前処理抽出用器具 ウォーターバス、ホモジナイザー等。詳細は取扱説明書をご覧下さい。

本品は食品衛生･環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。 必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用･保管･廃棄等の方法には充分ご注意下さい。 なお、価格･仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

アヅマックス株式会社 http://www.azmax.co.jp/ E-mail:sales@azmax.co.jp
ご注文 お問合せは 東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312